

# ボツリヌス(毒素製剤)治療



子ども達に「**勇氣**、**夢**として**笑顔**」を

## ボツリヌス（毒素製剤）治療とは

筋肉の異常な収縮で身体に変形や苦痛を生じる病気に用いられる治療法の一つです。

ボツリヌス菌が出すボツリヌス毒素をお薬にしたもので、筋肉に直接注射する事により、一定範囲の筋肉の異常な興奮を和らげます。



### 対象となる疾患

- けいせいしゃけい  
・痙性斜頸

（首や肩の筋肉が自分の意志とは無関係に収縮し、首が傾いた状態になること）

- そくわんしょう  
・痙性斜頸に伴う側弯症（痙性斜頸により背骨が曲がってしまう状態）

- けいせいまひ  
・上下肢の痙性麻痺（筋肉が硬直することで手足が動かない状態）

- ・顔面けいれん

- がんけん  
・眼瞼けいれん

などの疾患です。

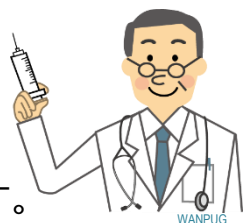
基礎疾患により適応が異なる事があります。

一般的には、内服薬による治療に抵抗性がある場合<sup>\*1</sup>にボツリヌス毒素療法が導入されます。



\*1 内服薬では治療の効果が期待できない場合

## 方法



入院または外来で、施注を行います。  
ボツリヌス毒素製剤の効果は、一般的に 3～6 ヶ月  
ぐらいで、効果をみながら定期的に施注します。

当センターでは、金曜日にボツリヌス療法の  
外来を設けています。



現在、ボツリヌス毒素 A 型製剤(ボトックス)と  
B 型製剤(ナーブロック)の 2 種類を  
準備しています。

## 副作用など

重篤な副作用の報告はありません。



頸部に施注した場合に嚥下機能<sup>えんげきのう</sup>（飲み込む動作）  
が一時的に弱くなったり、のどに溜まる唾液が  
多くなったりする事があります。

また、病状・病態によっては効果が  
認められない場合もあります。



地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<脳神経外科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605